

南部菱刺し古作資料調査と写真集製作*

川守田 礼子[†]・宮腰 直幸^{††}

Survey of old works of Nambu Diamond Embroidery and production of photo book

Reiko KAWAMORITA, Naoyuki MIYAKOSHI

ABSTRACT

In this research, we aim to reevaluate the value of local traditional culture and to share and utilize the cultural properties of the region by publishing unpublished old works of Nambu Diamond Embroidery as a book. We produced a photo book of the old works of the Nambu Diamond Embroidery in "Aomori no Sashiko Kimono," a tangible folk cultural property held by the Aomori City Board of Education, and made it available to the public.

Key Words: *Nambu Diamond Embroidery, old works, folk cultural property, photo book*

キーワード: 南部菱刺し, 古作資料, 民俗文化財, 写真集

1. はじめに

青森県伝統工芸品である南部菱刺しは、青森県東南地域に江戸時代から伝わる伝統的染織文化で、地域の衣生活の歴史を示す民俗資料でもある。近代以降に収集された古作と呼ばれる染織資料は、刺し子の高度な技術とデザイン性を備えている。古作資料が持つこうした伝統的な手わざや図案を、南部菱刺しの新たな製作や研究の参考としたいという需要が高い。しかし、特に南部菱刺しの古作資料はほぼ非公開であり、博物館等の常設展で閲覧できる資料は少数で、関連した写真資料も多くはない。古作資料という文化財の活用が進んでいない状況にある。

そこで、本研究では、民俗文化財の南部菱刺し染織資料を書籍化することで、地域伝統文化の価値の再評価および地域が有する文化財の共有・活用を目指した。青森市教育委員会所蔵の青森県有形民俗文化財「青森の刺しこ着」¹⁾のうち、南部菱刺し染織資料を撮影し、写真集『ひしざし』²⁾を製作した。完成した写真集は、青森県内の図書館・美術館・博物館等の公共施設および教育委員会等の教育機関に配布するとともに、デジタル版を Web 上で公開した。染織資料の調査・撮影は、青森市教育委員会文化遺産課の協力のもとに行った。

* 令和7年1月31日 受付

[†] 感性デザイン学部感性デザイン学科・教授

^{††} 感性デザイン学部感性デザイン学科・教授

2. 製作

2.1 古作資料の調査・撮影

青森市教育委員会所蔵の青森県有形民俗文化財「青森の刺しこ着」¹⁾は、民俗学者の田中忠三郎が館長を務めた青森市歴史民俗展示館稽古館が有していたもので、2006 年当館が閉館した後に青森市に移管された。全資料 1014 点中、南部菱刺し染織資料は 252 点であり、これを本調査の対象とした。内訳は、「菱刺し前だれ」28 点、「菱刺し・つづれ刺し着物」123 点、「菱刺し・つづれ刺したっつけ」86 点、「麻つづれ刺し袖なし」15 点である。

事前調査を複数回実施したのち、写真集掲載資料として 22 点を選出した。内訳は、「菱刺し前だれ」11 点、「菱刺し・つづれ刺し着物」5 点、「菱刺し・つづれ刺したっつけ」5 点、「麻つづれ刺し袖なし」1 点である。撮影資料リストを作成し、2023 年 11 月 1 日に撮影を行った（写真 1.2）。撮影指導にカメラマンの饗場駿（合同会社 ACAD）、調査・撮影補助に伝統工芸士の山田友子（南部菱刺研究会）両氏の協力を得た。撮影後、青森市教育委員会から画像データ使用の許諾を得た。



写真 1 撮影の様子



写真 2 撮影の様子

2.2 写真集の製作

Adobe Illustrator により写真集編集作業を行った。古作資料が有する情報を可能な限り伝える目的で、下記の工夫をした。

- 1) 画像は 1 ページあたり 1 枚または 2 枚とし、大きく掲載した。
- 2) 拡大画像にメジャーを付して寸法を明示し、刺し子技術の細かさが確認できるようにした。
- 3) 貴重な布を大切に扱った当時の衣生活習慣を示すために、衣服の表側のみでなく背側や裏側の画像も掲載した。

完成稿は印刷業者委託（印刷の通販グラフィック）で製本印刷した。完成した写真集は、表紙含め 38 ページ、フルカラー印刷の A4 版無線綴じ冊子で、印刷部数は 500 部である（写真 3）。



写真 3 完成した写真集

2.3 写真集の公開

完成した写真集『ひしざし 青森市所蔵県有形民俗文化財 青森の刺しこ着 南部菱刺し古作写真集』²⁾は、地域の伝統文化学習や南部菱刺し製作・研究への活用を促すため、青森県内の図書館・美術館・博物館・資料館・教育委員会・高等学校、南部地域の中学校、および南部菱刺し・こざん刺し製作者、研究者に寄贈した。デジタル版は下記の通り八戸工業大学ホームページ上で公開した(写真4)。また、2023年12月23日、八戸工業大学番町サテライトキャンパス「ばんらぼ」において完成発表会・一般頒布会を行い、新聞等で取り上げられた(写真5.6)。

《デジタル版写真集》

八戸工業大学ホームページ(掲載日 2024年1月11日、更新 2024年1月22日)

南部菱刺し古作写真集『ひしざし』公開のご案内(デジタル版冊子の公開)

URL: <https://www.hi-tech.ac.jp/entry/33072>



写真4 デジタル版の公開



写真5 完成発表会



写真6 新聞記事³⁾

3. おわりに

本研究では、民俗文化財の南部菱刺し染織資料の共有・活用を目的とし、南部菱刺し古作写真集『ひしざし』の刊行・配布およびデジタル版の一般公開を行った。本写真集刊行による効果として以下が期待される。

- 1) 非公開の貴重な南部菱刺し古作資料（民俗文化財）の広範囲活用
- 2) 古作資料が備える高度な伝統技術とデザイン性の現代的活用に向けての価値再評価と共有
- 3) 県内中高学生や教育関係者への地域伝統文化資料、「南部菱刺し」教育学習資料の提供、地域文化財への理解促進や地域への誇り涵養
- 4) 南部菱刺し製作者・研究者への古作資料の提供、製作・研究活動の活性化・深化
- 5) 青森県の地域活性化および観光振興への寄与

本研究は、公益財団法人青森学術文化振興財団より、令和5年度青森学術文化振興財団事業として助成を受けている。

また、本写真集製作にご協力くださいました青森市教育委員会文化遺産課、饗場駿氏、山田友子氏、ほか関係各位に心より感謝申し上げます。

参考文献

- 1) 青森市教育委員会文化財保護課：青森の刺しこ着，https://www.pref.aomori.lg.jp/soshiki/kyoiku/e-bunka/kenyuukei_10.html <2025年1月30日アクセス>
- 2) 川守田礼子：南部菱刺し古作写真集『ひしざし』，<https://www.hi-tech.ac.jp/entry/33072> <2025年1月30日アクセス>
- 3) 東奥日報：2024年1月15日付朝刊，12面，東奥日報社，2024.

要 旨

本研究では、非公開の南部菱刺し古作資料を書籍化することで、地域伝統文化の価値の再評価および地域が有する文化財の共有・活用を目指す。青森市教育委員会が所蔵する有形民俗文化財である「青森の刺しこ着」の中の南部菱刺し古作資料について、写真集を製作し、一般公開を行った。

キーワード：南部菱刺し，古作資料，民俗文化財，写真集